

## 5 - 4 東海地方の微小地震の分布 (1986年11月1日～1987年4月30日)

Distribution of Microearthquakes in Tokai District (November 1, 1986 - April 30, 1987)

名古屋大学 理学部

School of Science, Nagoya University

前報<sup>1)</sup>に引き続いて1986年11月1日より1987年4月30日までの6ヵ月間における東海地方の微小地震活動について報告する。

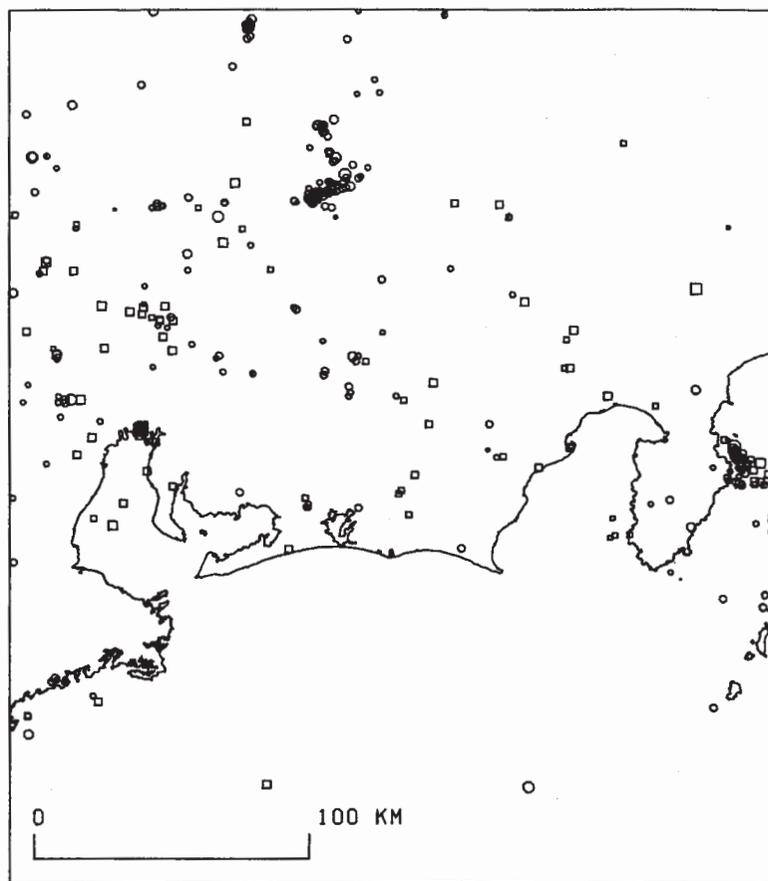
第1図に1986年11月1日より1987年4月30日までの月間に名古屋大学理学部の地震テレメータ観測網によって観測された20km以浅に発生している地震の震央を3ヶ月ずつの期間に分けて示したものである。第2図は同じ期間に20kmから80kmの間の深さで発生した地震の震央を示したものである。

以下にその特徴について述べる。

- (1) 伊豆東方沖では1986年11月の伊豆大島噴火後活発な地震活動がみられたが1987年2月から4月にかけては静穏な状態がつづいている。
- (2) 長野県西部地震の余震は依然として続いており、最近はやや北西の地域での活動が見られる。
- (3) 1986年12月11日から14日に名古屋市直下でM3.9の地震を含む地震活動があった。
- (4) 1987年3月6日に駿河湾西海岸付近でM3.3の地震と小規模な余震活動が見られた。

### 参 考 文 献

- 1) 名古屋大学理学部: 東海地方の微小地震の分布 (1986年5月1日～1986年10月31日), 連絡会報, **37** (1987), 268 - 270.

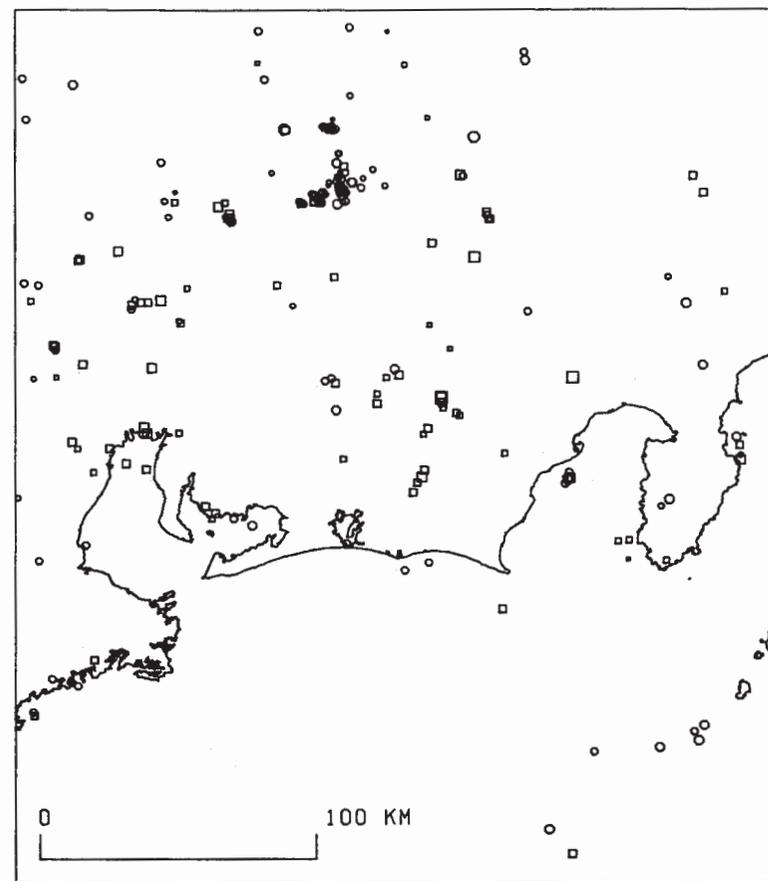


N = 385

DEPTH 0 10 20 KM  
○ □

MAG. 1 2 3 4  
• ○ ○ ○

1986 11 1 - 1987 1 31



N = 232

DEPTH 0 10 20 KM  
○ □

MAG. 1 2 3 4  
• ○ ○ ○

1987 2 1 - 1987 4 30

( NAGOYA UNIV )

第1図 微小地震の分布 (1986年11月1日~1987年4月30日) 震源の深さが20km以浅のもの

Fig. 1 Epicenter distribution of earthquakes (Nov. 1, 1986 - Apr. 30, 1987) shallower than 20km.

